

科目名		担当責任者	
在宅療養支援特論演習		開田ひとみ、田尻 登志子	
Seminar in Home Care Nursing			
標準履修年次	必修選択別	単位数	科目ナンバー
2年・通年	選択	2単位	9I604
授業の概要(ねらい)			
<p>多様な課題をもつ在宅療養者・家族に対する援助の具体的方法について修得する。 自己のテーマを設定し、在宅における看護過程の特徴、在宅療養者・家族に対する援助の特徴、事例展開、在宅看護における倫理的課題(意思の尊重、在宅医療、虐待、情報)などについて、文献検討を行い、討議する。 また、履修生の研究課題に応じて必要であれば、訪問看護ステーション等でのフィールドワークを通して在宅療養者・家族の健康と生活を支える地域包括ケアシステムについて考察する。</p>			
授業の到達目標			
<p>【ディプロマ・ポリシーとの関連:①②③】</p> <ol style="list-style-type: none"> 在宅看護の現状を分析し、地域包括ケアシステムの構築について説明できる。 在宅療養者が抱える療養上の課題に関しての先行研究の論文を講読しを通して研究課題に繋げることができる。 			
成績評価の方法および基準			
演習課題(100%)			
教科書		参考書	
随時提示		随時提示	
準備学修(予習・復習等)の具体的な内容およびそれに必要な時間			
シラバスに示された項目の事前学修をし、演習時に学習資料を持参する。当該時間に60時間以上の予習・復習が必要。			
その他履修上の注意事項			
授業へは主体的に参加すること。この科目とディプロマポリシーとの関連をカリキュラム・マップを参照し、理解すること。フィールドワークについて学修しておくこと。			

